

石川県美容組合より推薦して 講師をしていただきました。

2022
石川県仕事探しシェルパ



石川県人材確保・定住推進機構ジョブカフェ石川



令和4年 9月28日(水)

株式会社 ヘアー・ディレクションナンブ 取締役社長

桶本 健太郎 さん

内灘高校1年生

〔テーマ〕誰かのお役に立つことを仕事にする！

○お仕事とは

- ・将来の進路(就職 or 進学)を決めるのは、学校のスケジュールではなく自分で決めて、自分で準備する必要がある
- ・進学の場合、試験日から逆算して準備する→方向性が固まれば、イメージ(進学のための準備)も明確になる

○自己紹介 47 歳、ナンブに入社 26 年目

- ・高校卒業後、高津理容美容専門学校に進学、卒業後都内の美容店に勤務したのち 1997 年にナンブに入社
- ・各店店長、営業本部長、執行役員等を経て 2020 年、事業承継という形で取締役社長に就任、現在社長 3 年目

○会社紹介

- ・金沢に 7 店舗、野々市に 1 店舗、小松に 1 店舗を構えるスタッフのほとんどが 20 代
- ・老舗のイメージを一新するため、4 店舗の屋号を変えてリフレッシュを図る(時代とともに価値観も変わる)

○美容師の仕事

- ・少子化などにより美容師を目指す人が減少→美容師の仕事は楽しい、やりがいがあると伝える必要がある(情報だけでなく姿勢で伝える必要がある)
- ・子供たちは周りにいる生き生きと仕事をしている大人の影響を受けやすい(大人がどんな気持ち、思いで活動しているかを見ている子供も感じている)→私達、美容師もそのような思いを持って仕事に励んでいる

- ・仕事を通してどんなことを伝えられるか常に考え、今日来てよかったと思われるように毎日仕事をしている
- ◎生き生きと仕事に向きあうには、考え方とテクニックも必要

○幸せの定義

- ・人としての幸せの定義＝衣・食・住が揃った状態→日本人の多くは、この 3 つが揃った幸せな状態にある
- ・しかし、近年、このバランスが崩れているケースを目にする(子ども食堂→食、児童養護施設→住 など)
- ・衣・食・住が揃った幸せに感謝する必要がある→他に求めるものは欲求(自己満足)を追いかけていることになる
- ・今の衣・食・住が揃った豊かな暮らしは、戦後や高度経済成長時代の方々の「労働」のおかげである⇒労働によって幸せをつかんだ

○働く意味、目的とは

- ・美容師は毎日お客様から「ありがとう」という感謝の言葉をいただき、しかも代金までいただける幸せな仕事
- ・このことは、当たり前ではなく「特別な状態」である→美容師の仕事はお客様の役に立っている⇒これが幸せと感じることができる理由＝これが働く意味、目的

○今日のまとめ

- ・今が当たり前ではなく「特別である」と感じる→周りの人に感謝しよう
- ・知ること→情報は多い方が良い、多くを比べて選択できる方が良い
- ・誰か役に立ちたいと思って職業を選択する

○最後に・・・夢は見るものではなく叶えるもの

1 中学校におけるキャリア教育について

- 目標 ・ 学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感させ、学ぶ意欲を向上させる。
・ 望ましい勤労観・職業観を育てる。

主な取組

○「わく・ワーク(work)体験」



詳細はリーフレットを
ご覧ください。

2 高等学校におけるキャリア教育について

- 目標 ・ 選択基準としての勤労観・職業観の確立
・ 将来設計の立案と社会的移行の準備
・ 進路の現実吟味と試行的参加

主な取組

○「インターンシップ(就業体験)」

職業に関する体
験によって進路
選択につなげる



○「企業人に学ぶ高校生人間力向上プロジェクト事業」

いしかわ
の企業人
インタビュー
DVD



自己表現ワークショップ



○「ふるさとに学ぶクリエイティブ人材育成事業」

企業見学



ジョブカフェ講座



○「産業連携による人材育成推進事業」

長期型企業実習



専門家の技術指導



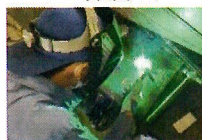
○「専門高校等における産学連携人材育成事業」

企業や大学等と
連携した先進的
かつ実践的な教
育活動の実施

農業分野



工業分野



商業分野



看護分野



○「就職希望者に対する支援」

高校生を対象とした
企業ガイダンス
(卒業予定者対象)



定時制・通信制生徒
のための企業ガイダンス



○「進学希望者に対する支援」

高校生のためのいしかわふるさとセミナー
進学を希望する高校生や保護者
に地元で暮らし働く魅力に理解を
深めるため
実施

